

第27回

令和8年

アートと
さまのこの町並みとの
コラボレーション

よつさ アート in さまのこ

10月17日(土)18日(日)9:00~16:00

高岡市吉久 旧放生津往来 (ウラ面地図参照)

旧放生津往来に家紋と家号を掲げ、往時の繁栄をしのびます

16日(金)16:30~18:00 前夜祭 おわら踊り
三角広場 雨天の場合は西照寺

17日 獅子舞の町周り開催 吉久神明社の秋季祭礼

主催：さまのこアート in よっさ 2026実行委員会
共催：吉久まちづくり推進協議会、吉久連合自治会、
吉久公民館、NPO法人吉久みらいプロジェクト
後援：高岡市、高岡市教育委員会、
富山大学芸術文化学部

協力：万葉線株式会社
問合せ：yoshihisamachi@gmail.com

※帰りの万葉線乗車券を配布
(イベント中の2日間、往復の万葉線利用に限り)
配布場所：さまのこ屋、よっさ柴屋



テーマ まちなみギャラリー



アートと
さまのこの町並みとの
コラボレーション



さまのこ屋

丸谷家

有藤家

丸谷家

(株)カイスイマレン
無料駐車場

新日本電工(株)
無料駐車場

華道展
(TEKリトルパーク)

万葉線
新吉久電停

萬葉線
吉久電停

加賀藩
御蔵跡

三角広場
(前夜祭おわら踊り会場)

西照寺

智德

よっさ柴屋

まちの駅 御蔵(本部)



御貸家跡

和平蔵

まほろば日
(染色ワークシヨップ)

能松

重要伝統的建造物群保存地区

吉久神明社

吉久ひなとり
保育園

吉久公民館

臨時駐車場

吉久

高岡市

吉久は高岡の北、小矢部川の河口に位置し、江戸時代には砺波・射水の年貢米は小矢部川、庄川の水運と馬によって吉久へ運ばれ、伏木港より北前船で大阪や江戸へ送られた。

承応四年(1655年)に加賀藩直営の御蔵が建てられ、吉久・伏木
詰米奉行も存在し、藩士の知行米を扱う蔵宿(町蔵)もあって、吉久
は高岡とともに重要な米の集散地として栄えた。

明治維新後は有力農民が数名合同して米穀売買倉庫業に進出した。ヤマノ、イゲタジョウ、カネサン、マルハチ、ヒシイチ、四十七などのグループがあった。これを吉久では倉仲間、米商と呼んだ。今に残る町並みは放生津（射水市）と高岡を結ぶ通りの放生津往来を中心として江戸時代末から昭和初期にかけて建てられたもので、米商により栄えた当時の面影を今に伝える貴重な文化遺産である。令和2年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

- まちなみギャラリー
作品展示・販売
- 富山大学芸術文化学部企画
- 吉久説明看板
- 登録有形文化財
丸谷家・有藤家・能松家
- 案内所
- 案内所(作品展示もあり)
- トイレ
- カフェ
- 食事処
- 駐車場(無料) 9:00~17:00

協替各社(五十音順)

エムアルテクノサービス株式会社
荻布倉庫株式会社
株式会社カイスイマレン
有限会社北日本新聞加藤販売店
さまのこ屋
サンエツ金属株式会社
JFE ミネラル株式会社
有限会社ジョイマリンエンジニアリング
新日本電工株式会社
株式会社高岡市衛生公社
高岡警備保障株式会社
中越パルプ工業株式会社
日本重化学工業株式会社
氷見伏木信用金庫旭ヶ丘支店
伏木海陸運送株式会社
有限会社丸栄運輸
吉久朝市実行委員会
吉久建設株式会社
吉久公民館
吉久デイサービスむら花
吉久獅子舞保存会
吉久連合自治会

※展示やお店は変更する場合があります。
※さまのこアートIn よっさ事業は地元の方々の協力と協賛各位のご理解により運営されています。